「星屑の町」忘却篇
シアター1010で公演

10月3日・4日にシアター1010でアンビュ

水谷・小宮さんが思い語る

水谷さん（左）と小宮さん

一人芝居される「星屑の町」忘却篇」作・演出の水谷龍二さんと出演者の小宮孝泰さんに公演に向けて話を聞いた。

◇

水谷さんは「実は2016年に『星屑の町』は150万円を費やして上演しています。その時に、ラサール石井から『もう一回やりませんか』と話があってね。『じゃ、10年後みんな元気だったらやる』と軽く言ったんです。10年後だからどうなるかわからないじゃないか。本当にやるつもりではなかったのですが10年という人間関係の喜劇なので、それを追及していこうと。皆さんは年をとりやがって集団ぼけがやってくるそうですね。何か起きた時もそれで追跡していけるようにと7台つけました。

――防犯カメラはあるだけでも犯罪の抑止力になるそうですね。何か起きた時もそれで追跡できる。

今、竹の塚警察の防犯協会の会長として12年目になるんですが、町会長としてまず防犯カメラをつけなければいけないんですけど、そんな状況だったのでなかなか設置までいけなかった。やっと自信を持って自慢できるようになりました。

――足立区町会・自治会連合会（区町自連）の國井幹雄新会長に色々とお話を伺います。まず最初に新会長としての抱負と、区町自連の今後のあり方に何かビジョン等ありましたら。

はい。峯岸茂隆前会長が退かれたので、会長代行からこのような形になりましたが、前人の考え方も取り入れながら進めていきたいなと。特にこれをしなきゃいけないという考えは今のところまだないんですが、区のバックアップを受けながら進めていければと思っています。

――8月6日に新会長になられたばかりですね。

あまりまだ欲はないといいますか…（笑）ボランティアな活動ですので、皆さんと仲良くやっていくことが一番大事だと思っているのと同時に、意思の疎通をしながらやっていければ、いつもそう思ってます。自分の町会でもそうなんですけどね。

――町会・自治会に入会する区民が本当に減っています。それについては。

これは全国的にそういう現状ですね。1999年に私が西保木間二丁目町会の町会長になって、皆さんという考えはいけないなと思っていました。

特別インタビュー
足立区町会・自治会連合会　新会長
國井幹雄氏(76)に聞く
「気配り・目配り・思いやり」

――足立区町会・自治会との絆を深めるために、その年の9月からクリーン作戦をやっているので話を伺います。まず最初に、新会長として12月に4ブロックに分けて、役員はブロックも変えながら年に3回くらい出るように組み合わせて。ほかにも色々な行事を行いながら一人でも多く、新しい方に参加していただけるようにお声掛けはしています。地域の伝統行事である「じんがんなわ」のお祭りでも、今年新しく建売に入居した方におかげさまで区が当日はNHKでも放送されて、本人も家族も喜んで、新たに入会していただきました。笑こういう方は前向きに検討してくれるんですけど、そうじゃない方を説得するにはなかなか難しいなと思っています。色々な行事、うちの町会でも秋祭りをやったりしますが、一人でも多くお声掛けしながら、入会していただけるようにしています。私は婿養子で、こちらに来た頃には、婿養子だからといって弾きだされるということはなかった。昔はひどかったらしいんですよ、うちの地域でも。私は違うところから来たもんですから、そういう考えはいけないなと。

――町会・自治会に入会する区民が本当に減っています。それについては。

これは全国的にそういう現状ですね。1999年に私が西保木間二丁目町会の町会長になって、皆さんという考えはいけないなと思っていました。

――足立区町会・自治会連合会（区町自連）の國井幹雄新会長に色々とお話を伺います。まず最初に新会長としての抱負と、区町自連の今後のあり方に何かビジョン等ありましたら。

はい。峯岸茂隆前会長が退かれたので、会長代行からこのような形になりましたが、前人の考え方も取り入れながら進めていきたいなと。特にこれをしなきゃいけないという考えは今のところまだないんですが、区のバックアップを受けながら進めていければと思っています。

――8月6日に新会長になられたばかりですね。

あまりまだ欲はないといいますか…（笑）ボランティアな活動ですので、皆さんと仲良くやっていくことが一番大事だと思っているのと同時に、意思の疎通をしながらやっていければ、いつもそう思ってます。自分の町会でもそうなんですけどね。

――町会・自治会に入会する区民が本当に減っています。それについては。

これは全国的にそういう現状ですね。1999年に私が西保木間二丁目町会の町会長になって、皆さんという考えはいけないなと思っていました。

――足立区町会・自治会連合会（区町自連）の國井幹雄新会長に色々とお話を伺います。まず最初に新会長としての抱負と、区町自連の今後のあり方に何かビジョン等ありましたら。

はい。峯岸茂隆前会長が退かれたので、会長代行からこのような形になりましたが、前人の考え方も取り入れながら進めていきたいなと。特にこれをしなきゃいけないという考えは今のところまだないんですが、区のバックアップを受けながら進めていければと思っています。

――8月6日に新会長になられたばかりですね。

あまりまだ欲はないといいますか…（笑）ボランティアな活動ですので、皆さんと仲良くやっていくことが一番大事だと思っているのと同時に、意思の疎通をしながらやっていければ、いつもそう思ってます。自分の町会でもそうなんですけどね。

――町会・自治会に入会する区民が本当に減っています。それについては。

これは全国的にそういう現状ですね。1999年に私が西保木間二丁目町会の町会長になって、皆さんという考えはいけないなと思っていました。